

健康

1 がん対策の推進

- がん対策条例の制定、がん予防計画の策定により、予防、早期発見・早期治療、患者のサポートなどについて具体的ながん対策の方策を定め実践する。
- 受診勧奨イベント等の意識啓発事業を実施するとともに、がん検診の受診勧奨はがきの送付などの受診率向上策に力を入れていく。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

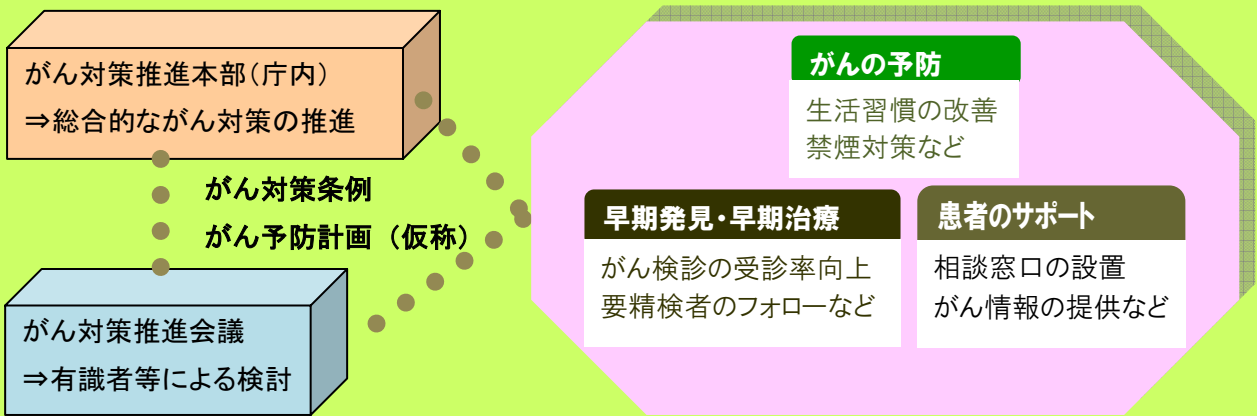
- ◆ がん対策推進事業 48
  - ◇がん対策推進本部の開催 ◇がん対策推進会議の開催 ◇がんに関する区民意識調査の実施
  - ◇がん対策条例の制定 ◇がん予防計画の策定
- ◆ がん検診受診勧奨事業 49
  - ◇受診勧奨状の送付 ◇受診勧奨イベントの開催
- ◆ がん検診事業 49
  - ◇胃がん検診 ◇子宮頸部がん検診 ◇肺がん検診 ◇乳がん検診 ◇大腸がん検診

【チャレンジ指標】（調査等の関係で、基準値以降の数値がない場合、現在欄は「同左」としてしています。）

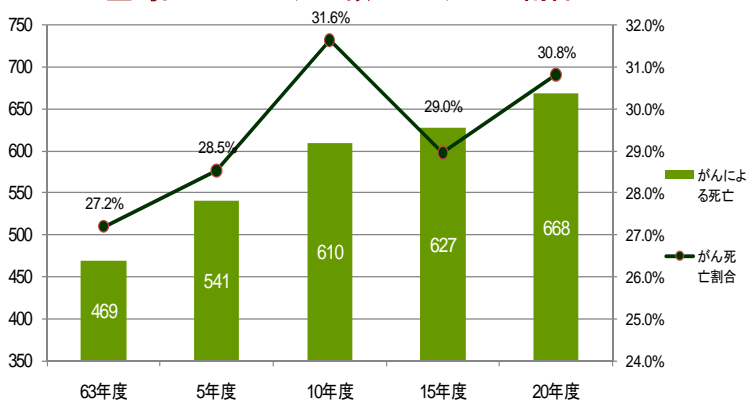
指標名称	基準値	現在	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
がん検診の受診率	4.2% (18年度)	5.3% (20年度)	15%	17%
喫煙率の減少	20.3% (19年度)	同左	15%	12%



がん対策のイメージ



豊島区のがんの死亡数とがん死亡の割合



【乳がん検診受診勧奨イベント】

- 特定健康診査・特定保健指導や各種の健康増進事業を通して、二次予防のみならず、一次予防に重点を置いた健康づくり対策を推進する。
- 個人・行政・関係団体・教育機関・地域が協働し、広く区民が、病気や加齢による機能低下の進行を防ぎ、健康で心豊かに暮らせるような環境を整備する。
- 食に関する体験活動の促進、適切な知識の啓発など、区民参画により食育運動の推進を図っていく。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 特定健康診査・特定保健指導事業 47
- ◆ 健康チャレンジ! 事業 52
- ◆ 女性のしなやか健康づくり 53
- ◆ 食育の推進、学校における食育の推進事業 54 108



【としま健康チャレンジ!  
第1回基本講演会】

【チャレンジ指標】(調査等の関係で、基準値以降の数値がない場合、

現在欄は「同左」としています。)

指標名称	基準値	現在	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
メタボリック・シンドロームの理解度	69.2% (19年度)	同左	82.0%	85.0%
特定健康診査の受診率	43.1% (20年度)	同左	65.0%	70.0%
適正体重を維持している人の割合	67.8% (19年度)	同左	70.0%	72.0%
朝食を欠食している人の割合	12.0% (19年度)	同左	10.5%	10.0%
食事のバランスや量に注意して食べている人の割合	34.8% (19年度)	同左	38.0%	40.0%
運動習慣のある人の割合	51.3% (19年度)	同左	60.0%	62.0%



【としま豊かな食コンクール】

- 次代を担うジュニアの育成やシニアの健康づくりにつながる講座・教室等を開催する。
- 区内の関係団体との連携を図り、スポーツ大会を開催する他、講師派遣を行う。
- (仮称)南長崎中央公園内のスポーツ施設の整備や既存体育施設の改修を行い、生涯にわたりスポーツに親しめる環境を整備する。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ (仮称)南長崎中央公園の整備 286
- ◆ ジュニア育成・シニアスポーツ振興事業 285
- ◆ 【再掲】健康教育推進事業 107



【子どもたちへのスポーツ指導】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
区立体育施設の利用者数	703,625人	726,960人 (20年度)	→	→

健康

# 4 介護予防大作戦

- 生活機能評価を実施し、高齢者が要介護状態に陥らないよう老化のリスクを早期に発見し、早期対応につなげる。
- 運動プログラムや認知症予防プログラムなど、介護予防に効果的なプログラムを整備する。
- 地域における介護予防を推進するため、効果的な普及啓発事業を展開する。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 介護予防普及啓発事業 30
- ◆ 介護予防運動プログラム事業 32
- ◆ 介護予防生活機能チェック事業 31



【介護予防教室】

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
特定高齢者決定者のうち介護予防プログラム参加者の割合	7.1%	8%	10%	11.5%
介護予防事業（運動プログラム）参加者数	332人	412人	570人	650人



【高齢者マシントレーニング】

健康

# 5 感染症予防・安全な暮らしの確保

- 区民一人ひとりが、感染症や食品・医薬品等について正しい知識を持ち、日常の習慣・消費生活などにおいて適切に行動できるよう、健康危機や食品表示等に関する効果的な情報提供を進める。
- 感染症予防に関する知識の普及啓発、感染症情報の収集・分析・提供、関係機関との連携・協力体制の整備、予防接種の促進など事前対応型の感染症対策を強化する。
- 新型インフルエンザ対策に必要となる医療資器材等の備蓄、相談体制及び正確な情報を迅速に提供できる体制を強化するとともに、区民に向けて正しい知識等の理解促進を図る。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 感染症対策事業 60
- ◆ 新型インフルエンザ対策事業 63
- ◆ 食の安全推進事業 64



【広報としま新型インフルエンザ特集号】

【チャレンジ指標】

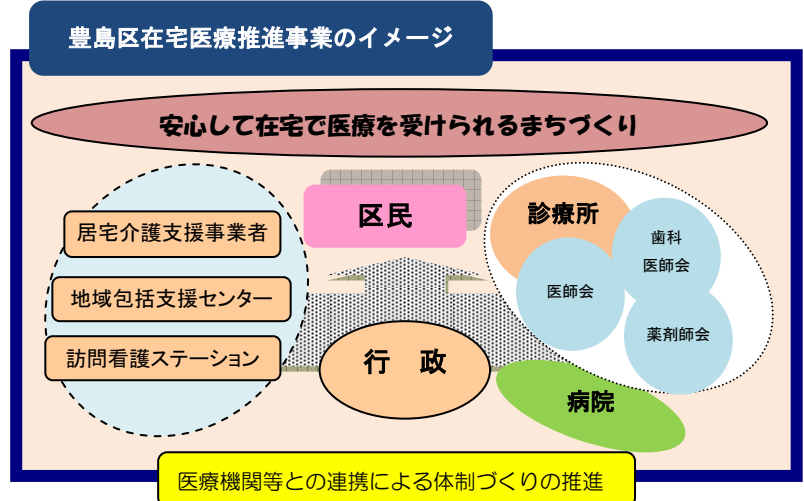
指標名称	基準値	現在	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
食中毒事故の発生件数	5件 (18年度)	3件 (20年度)	0件	0件
感染症・食中毒予防講習会開催件数	112回 (18年度)	93回 (20年度)	140回	140回
麻しん予防接種率	第1期 77.4% 第2期 68.0% (18年度)	第1期 86.6% 第2期 85.3% (20年度)	各定期 95%以上	各定期 95%以上

- 身近な場所で適切な医療サービスが受けられる体制づくりを推進し、都立病院や地域の医療機関等との医療連携により、患者中心の医療を実現する。
- 休日診療及びあぜりあ歯科診療にかかる調剤業務とともに、医薬品や健康食品等にかかわる健康相談窓口を充実する。
- 子育て支援の観点から平日夜間の小児救急診療事業の円滑な推進を図る。

【主な事業】

(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

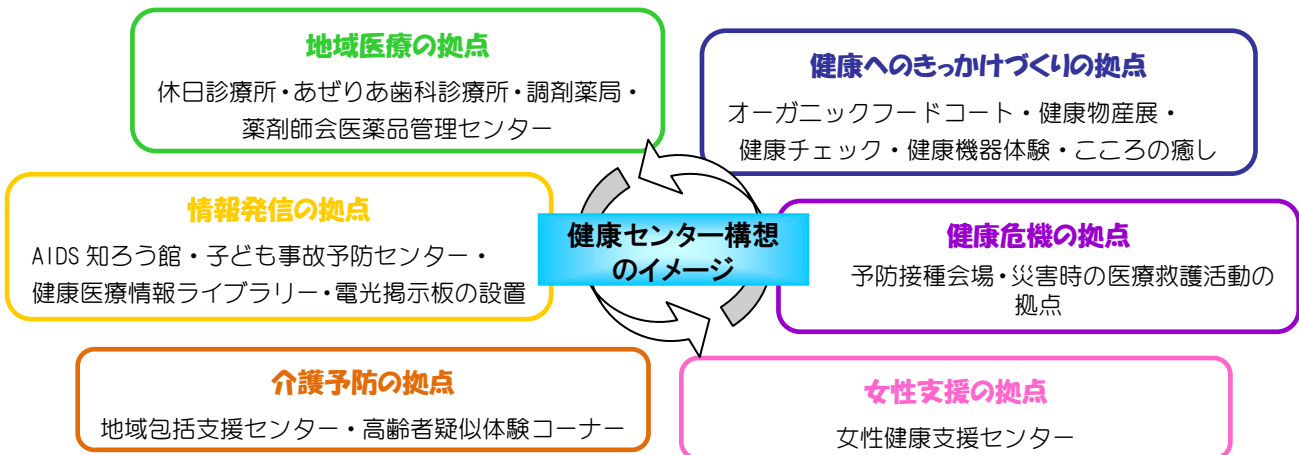
- ◆ 在宅医療推進事業 66
- ◆ 休日診療・休日調剤事業 67
- ◆ 夜間小児初期救急診療事業  
(豊島こども救急クリニック) 68
- ◆ 妊婦健康診査事業 58



【チャレンジ指標】(調査等の関係で、基準値以降の数値がない場合、現在欄は「同左」としています。)

指標名称	基準値	現在	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
かかりつけ医を持つ人の割合	66.2% (19年度)	同左	71.2%	73.2%
休日診療・夜間小児救急診療事業の実績	3,713人 (18年度)	5,157人 (20年度)	5,200人	5,200人
休日調剤の実績	1,958件 (18年度)	3,860件 (20年度)	4,300件	4,300件

- 新庁舎の整備に合わせ、健康へのきっかけづくり・地域医療・健康情報の発信・健康危機・女性支援・介護予防等の拠点的な施設として、池袋保健所に隣接した健康センター構想の実現を図る。



- 長崎健康相談所を統合し、池袋保健所に保健・健康機能を集中、強化するとともに、平和小学校跡地に整備する複合施設において、健康づくり支援機能を確保する。